

児童図書研究室ニュース

2016.10

福島県立図書館 <https://www.library.fks.ed.jp/>

No. 91

■子どもの本がつなぐスマイルプロジェクト 親子ふれあい読書フェスティバル 本はともだち 「おはなしや本の世界を楽しもう」

講師 伊藤 明美 先生

伊藤明美先生は、朝日新聞「子どもの本棚」の書評委員、東京書籍中学国語教科書編集委員、ブックスタート絵本選定委員などを歴任され、小澤俊夫先生が主宰されている全国昔ばなし大学の講師もされています。

子どもの身边にいるおとなための「講演」と、子どもと一緒に楽しむ「おはなしかい」があります。

ぜひご参加ください。

平成 28 年 11 月 19 日(土)

13:00~14:30 第1部 講演「おはなしや本の世界を楽しもう」

14:40~15:20 第2部 おはなしかい

場所: LATOV(ラトブ)6 階 いわき産業創造館 企画展示ホール

入場無料

お問合せ先: 福島県立図書館 TEL: 024-535-3218



■学校図書館に子どもが好む本を置くようにすると、もっと本を読みたくなる

文部科学省が平成27年度に「地域における読書活動推進のための体制整備に関する調査研究」の委託調査を行いました。この調査は「小学生、中学生、高校生の読書の実態や不読の背景・理由等を把握するための調査を実施し、課題を明確にするとともに、不読解消のための方策等について検討を行う」とと「各自治体(都道府県、市区町村)で実施されている子供たちの読書推進に関する取組のうち、地方公共団体、学校、図書館、民間団体、ボランティア等の連携・協力により実施されている取組について、その連携・協力手法等に着目して調査・分析を行い、特徴等を明らかにすること」を主な目的としています。

1か月に本を1冊も読まなかった生徒が本を読まなかった理由は、小学生では「TVやインターネットを見ていて時間がなかったから」「ゲームをしていて時間がなかったから」、中学生・高校生では「ふだんから本を読まないから」という割合が多く、「中学生や高校生では、読書習慣が身についていないために本を読まなくなっている者が多いのではないか」と分析されています。

また、「どのようにすればもっと本を読みたくなると思うか」という問いに、小学生・中学生・高校生ともに、「学校の図書館(図書室)に好む本を置くようにする」という回答の割合が最も高くなっています。

子ども読書の情報館>関連データ・資料等>「地域における読書活動推進のための体制整備に関する調査研究」
<http://www.kodomodokusyo.go.jp/happyou/datas.html>



■第 70 回読書週間 10 月 27 日(木)~11 月 9 日(水)

読書週間を主催している公益社団法人読書運動推進協議会のホームページには、「読書週間」のポスター、マーク、ロゴ、ポップ、しおり、ブックカバーなどの素材集が、図書館だよりなどで利用できるように掲載されています。今年の読書週間の標語は「いざ、読書。」です。この時期に各地の図書館では、さまざまな催しがあります。この機会に遠くの図書館にもでかけてみませんか？

公益社団法人読書推進運動協議会 <http://www.dokusyo.or.jp/index.htm>

■ 研修会・学習会・その他

・ピアトリクス・ボタ一生誕150周年 ピーターラビット展

期日:2016年12月20日(火)~2017年2月1日(水) 休館日:2016年12月29日(木)~2017年1月3日(火)

会場:TFUギャラリー ミニ モリ 東北福祉大学仙台駅東口キャンパス

詳細情報 http://www.peterrabbit2016-17.com/info_s/

・図書館問題研究会第42回東北集会

テーマ「みんなで語ろう！ ほんとの図書館 in 福島」

期日:2017年1月29日(日)・30日(月)

会場:飯坂温泉ホテル聚楽

図書館問題研究会 <http://tomonken.sakura.ne.jp/tomonken/>

・2016年度 児童図書館研究会全国学習会 東京学習会

テーマ「過去から未来へ つなげよう ことばの力、本の力」

期日:2017年2月26日(日)・27日(月)

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟

児童図書館研究会 <http://www.jitoken.com/>

PICK UP 新着図書の中から

・『あの本この本どんな本 - 子どもの本の紹介文の書き方 -』

川上博幸／著 児童図書館研究会近畿支部 2016 J019.5/カ/

・『絵本ものがたり FIND 見つける・つむぐ・変化させる シリーズ絵本をめぐる活動 2』

今田 由香／編 イマダ ユカ 大島 丈志／編 朝倉書店 2016 J019.53/イ/

・『絵本はパレット』大井 むつみ／編著 邮研社 2016 J019.53/オ/

*「気軽に立ち寄れる居心地の良い図書館」として南相馬市立中央図書館が紹介されています。

・『学校図書館が動かす読書イベント実践事例集』

牛尾 直枝, 高桑 弥須子／編著 少年写真新聞社 2016 J017.2/ウ/

・『テーマ別のビブリオトーク 子どもの読書は「量より質」の時代へ』

笹倉 剛／著 あいり出版 2016 J019.9/サ/

・『童話作家になる方法』斎藤 洋／著 講談社 2016 J910.26/サ/

・『ねないこはわたし』せな けいこ／作・絵 文藝春秋 2016 J726.6/セ/

・『ビブリオバトル実践集 読書とコミュニケーション』須藤 秀紹／編 子どもの未来社 2016 J019.2/ス/

・『ブックトークのきほん 21 の事例つき TCL ブックレット』東京子ども図書館／編集

東京子ども図書館 2016 J019.2/ト

・『0~5歳子どもを育てる「読み聞かせ」実践ガイド よくわかる!絵本の選び方・読み方』

児玉 ひろ美／著 小学館 2016 J376.15/コ/

・『ランドルフ・コールデコット 疾走した画家』レナード・S.マーカス／著 灰島 かり／訳

BL 出版 2016 J726.6/コ/

第102回全国図書館大会(東京大会)が開催されました。

10月16日(日)に「地域創造と図書館の未来」をテーマに全国図書館大会が青山学院大学青山キャンパスで開催されました。児童サービスの分科会のテーマは「キラリと光る小さな町の児童サービス」で、籠田まき子さんが、「小野町ふるさと文化の館・図書館の児童サービス」について発表されました。

全国図書館大会のホームページには分科会の資料が掲載されており、児童サービスの分科会では、小野町ふるさと文化の館・図書館のほか、まなづる図書館、三芳町立図書館の発表資料を読むことができます。

第102回全国図書館大会 東京大会(日本図書館協会) <http://jla-rally.info/tokyo102th/index.php/index>